

一般社団法人日本繊維機械学会

第27回秋季セミナー「進むせんい、人に寄り添うせんい」

<https://tmsj.or.jp/autumnseminer/>

オンライン開催

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第27回となる今回は「進むせんい、人に寄り添うせんい」をメインテーマとして開催いたします。

特別講演では、2010-20 ナノファイバーレビュー～素材系ベンチャーの視点～について(株)ナフィアス代表渡邊圭様にご講演をいただき、日本繊維機械学会技術賞受賞講演も企画いたしました。

テーマ別講演では、これらのホットなテーマについて、関係分野の第一人者によるご講演を企画しました。本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。※ポスターセッションは開催中止になりました。(9月2日更新)

【期日】2020年11月11日(水)、12日(木)

【会場】オンライン開催 (Microsoft Teams を使用)

【内容】

1日目【11月11日(水)】

13:00	開会の挨拶	第27回秋季セミナー実行委員会
13:05	挨拶	一般社団法人日本繊維機械学会
13:10-14:10	特別講演「2010-20 ナノファイバーレビュー～素材系ベンチャーの視点～」 (株)ナフィアス 代表 渡邊 圭 株ナフィアスは、ナノファイバー(NF)の迅速な事業化を目的として、NF素材「NafiaS®」の研究開発・製造販売を行う信大発ベンチャーである。2010年代前半、業界におけるNF実用化の機運は高まりを見せていたが、この10年で状況はどう変化したのか。素材系ベンチャーとして体感した「魔の川・死の谷・ダーウィンの海」を中心にこの10年間のレビューを共有する。	
14:20-14:50	日本繊維機械学会賞「技術賞」受賞講演 「横編機で主糸と添糸を安定して切替えるためのプレーティング編成方法」 (株)島精機製作所 メカトロ開発部 第1グループ 課長 山野浩稔 ニット業界では他社との差別化を求め、多種多様なサンプル提案が求められています。そうした中、主糸と添え糸を自由に切り替えるプレーティング編成(i-Plating®)は天竺ベースで様々なデザインが表現できる画期的な編成方法です。従来のインバースプレーティングとの違いを説明しながら、i-Plating®のメカニズムとサンプルの可能性を紹介します。	
14:55-15:25	日本繊維機械学会賞「技術賞」受賞講演 「遮炎テキスタイル“GULFENG”」 東レ(株) テキスタイル・機能資材開発センター 第2開発室 部員 原田 大 熱可塑性繊維のポリフェニレンサルファイド(PPS)と、炭素繊維の前駆体である耐炎化糸を含む複合体は、通常の状態では一般的なテキスタイルとしての物性を有しつつ、炎に晒されると優れた遮炎効果を発揮する。我々は、この遮炎機能を有するテキスタイルを“GULFENG®”と名付け用途開拓を進めてきた。本報告では、“GULFENG®”の遮炎機構と用途開発例を報告する。	

	A会場	B会場
	「医療の発展と健康を支える繊維」	「持続可能社会への挑戦～プラスチックに学ぶせんの未来」
10:00 10:50	<p>「医療応用を目指したナノファイバーの幾何構造制御」</p> <p>福井大学 学術研究院 工学系部門 准教授 藤田 聡</p> <p>生体組織は、細胞が緻密に整列・配向することで、裏表や向き、異方性のある構造をとり、機能発現に重要な役割を果たしています。次世代の医療材料には、こうした細胞周辺のナノスケールの構造制御が求められます。本発表では、医療応用を目指したナノファイバーの幾何構造制御に関して、研究動向や取り組みを紹介しします。</p>	<p>「企業にとってのSDGsの重要性」</p> <p>経済産業省 近畿経済産業局 通商部次長 高瀬幸子</p> <p>2030年の達成を目指すSDGs。企業の参画が達成に不可欠であるSDGsが企業活動にどのような重要性を持つかを、経営面と環境面から政府系のガイドラインやビジョンで考察する。また、SDGs達成への貢献をめざす「大阪・関西万博2025」の開催を控えて、「関西SDGsプラットフォーム」等の取組についても紹介する。</p>
11:00 11:50	<p>「がんと闘うスマートナノファイバー」</p> <p>国立研究開発法人物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 スマートポリマーグループ グループリーダー 荏原 充宏</p> <p>本講演では、様々な刺激に応答するユニークなポリマー“スマートポリマー”からなるナノファイバーメッシュの開発と、それを用いた貼るがん治療への応用について報告する。このような基材は局所でのDDSを可能とするため、外科治療との併用に期待が高まっている。</p>	<p>「海で分解するプラスチック」</p> <p>大阪大学 工学研究科 応用化学専攻 教授 宇山 浩</p> <p>本講演では身近なバイオマス資源であるデンプンとセルロースを組み合わせた海洋で生分解するプラスチックシートについて述べる。海洋ごみ問題が地球規模の脅威になりつつある現状において、この課題の解決に向けて安価かつ地球に大量にあるデンプンとセルロースから海洋生分解性プラスチックシートを開発した。</p>
12:00 12:50	<p>「健康維持に向けた新たな取り組み」</p> <p>ミズノ(株) グローバル研究開発部 人間拡張研究開発課 課長 石田和也</p> <p>従来より弊社が競技スポーツ品の開発で培った技術は、日常生活における様々な活動を支える事にも活用できるのではないだろうか。そんな思いから弊社では現在、POWERED LIFE コンセプトとして、誰もが幸せで活気あふれる生活を実現するための商品やサービス開発に取り組んでおり、本セミナーではこの取り組み内容について事例を交えながら紹介しします。</p>	<p>「海洋プラごみを原料に再生」</p> <p>伊藤忠商事(株) エネルギー・化学品カンパニー リーテイル・資材部 化学品部門環境ビジネス 統轄 小林拓矢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラを取り巻く大まかな状況 ・海洋プラの定義について ・伊藤忠が進めているProject概要 ・Applicationのアイデアなど ・ご採用企業にとっての意義 ・事例紹介など
昼食 (12:50～13:40)		

2日目【11月12日(木)】午後

	A会場	B会場
	「人を守る進化系ファブリック」	「繊維機械の展望・将来像」
13:40 14:30	<p>「ナノファイバープロダクト NANOXERA™ (ナノクセラ™) の用途展開と展望」</p> <p>(株) ヤギ 営業第一本部 第二事業部 TECH TEXTILE PROJECT TEAM 小柴 遼 信州大学 繊維学部 金 翼水</p> <p>ナノファイバー製造企業である LIME 社と 2020 年 1 月グローバル販売契約を締結。信州大学繊維学部との研究開発により製造される量産型ナノファイバーは多岐にわたる分野において新しい価値を実現できるコア技術となります。本講演では、ナノファイバー技術を用いて展開される製品用途と新技術、今後の展望について発表します。</p>	<p>「原糸メーカーを中心とした業界動向と技術開発動向」</p> <p>TMTマシナリー (株) 営業本部 常務理事 四宮進一郎</p> <p>21 世紀となって早 20 年。この間も合成繊維はその用途や生産量を順調に拡大してきました。本発表の前半部では今日に至るまでの合繊業界上流部に於けるメインプレイヤーである原糸メーカーとその導入設備の変遷を紹介、後半部ではアフター・コロナ以降の業界動向と技術開発動向を考察してみました。</p>
14:40 15:30	<p>「抗ウイルスマスク・マスクインナーの開発経緯と今後の展開」</p> <p>小松マテール (株) 常務取締役 技術開発本部長 小川直人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会社紹介・概要 2. 機能加工及び用途展開事例 3. 可視光応答型光触媒素材「ウイルスシールド®」の開発経緯 4. 「ウイルスシールド®」マスクインナー展開 5. 夏用「マスク内環境™」対応「ダントツマスクール™」、「ダントツフィットインナー™」の開発 6. 冬用「マスク内環境™」対応 マスク企画 7. 「ウイルスシールド®」他用途展開事例 8. 今後の事業展開 	<p>「織機 (ジェットルーム) の開発動向」</p> <p>津田駒工業 (株) 繊維機械技術部 参与 伴場秀樹</p> <p>生産性を飛躍的に向上させた織機、ジェットルームが市場投入されてから 40 年以上が経過しました。生産性だけでなく、汎用性も拡大しながら製織範囲を拡大させ、市場浸透してきました。近年は、省エネルギーなどの環境対応もクローズアップされています。エアジェットルーム、ウォータジェットルームの最新の開発動向について紹介します。</p>
15:40 16:30	<p>「冷却ストッキングのメカニズム解明」</p> <p>旭化成 (株) 生産技術本部 生産技術センター CAE 技術部 主査 西川 満 旭化成 (株) 商品科学研究所 機能商品開発 Gr 長 秋田祥一</p> <p>着用するだけで実際に体温が低下するストッキングが当社で発明されました。流体固体共役熱伝達解析により、物理的にも正当性ある冷却メカニズムを解明した成果を報告し、快適な生活を提供するための冷却性繊維製品創出の可能性について紹介します。</p>	<p>「ハイブリッド捺染機および靴下用インクジェットプリンタの開発経緯とその特徴」</p> <p>東伸工業 (株) 設計部 部長 松下俊宏</p> <p>アナログにはアナログの良さが、デジタルにはデジタルの良さがあります。当社では、スクリーンプリントとインクジェットプリントを同時に行うことができるハイブリッド捺染機を開発してきました。本公演では、そのハイブリッド捺染機 iugo と新製品である靴下用インクジェットプリンタ Ginga について、開発経緯とそれらの特徴について紹介します。</p>
閉会の挨拶		

【参加費】 会員 17,000 円，協賛学協会員 17,000 円，非会員 25,000 円，
学生会員 1,000 円，学生非会員 3,000 円，特定会員（65 歳以上の正会員）5,000 円（税別）

【申 込】 「第 27 回秋季セミナー」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，
E-mail アドレス）④会員種別を記入の上，10 月 28 日（水）までに FAX または E-mail にてお申し
込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より WEB 申込ができます。
<https://tmsj.or.jp/autumnseminner/entry/>

【申込先】 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

【注意事項】（1）配布資料（冊子）、関係書類（請求書等）は、事前に郵送いたします。
（2）講演の録音・録画、ならびに講演中のスライド画面等の撮影は固く禁止いたします。
（3）お申込みいただいた方だけの視聴に限定させていただきます。

2020年11月11日(水)、12日(木) オンライン開催
「第27回秋季セミナー」参加申込書

フリガナ

氏名： _____

勤務先： _____

所属部課名： _____

繊維分野の就業年数 _____ 年

所在地： 〒 _____

連絡先 TEL： _____

E-mail： _____

会員種別： _____

下記に同意していただけません場合は、参加をお断りいたします

●講演の録音・録画ならびに講演中のスライド画面等の撮影をしないことを
【 約束します ・ 約束できません 】

●お申込みいただいた方のみ視聴することを
【 約束します ・ 約束できません 】
(当日に確認を行う場合がありますので、予めご了承ください)

連絡事項

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を
_____ 希望する ・ 希望しない _____

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____